

SSKP



Aikoh No.68

福祉社会への道を照らす 愛の灯台
～一隅を照らす実践、地域への貢献～

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可
二〇一九年四月十四日発行(毎月十八回)一、二、三、五、六、七の日発行
SSKP増刊通巻第七一四二号



特集

平成から令和へ 一歩み続けた我が町 山王

<CONTENTS>

こくご・さんすう・りか・ふくし
ともいきGO
ほっとでホツとできるところ
and more...

QRコードから
愛光ホームページを
ご覧いただけます。
<スマートフォン対応>



最新情報を随時配信中!

写真: 山王学童保育所の皆さん

平成から令和へ 歩み続けた 我が町山王

年号	西暦	出来事
昭和60年	1985年	宅地分譲始まる
昭和62年	1987年	敬愛短期大学開校
昭和63年	1988年	京葉銀行山王出張所開設
平成元年	1989年	山王小学校開校(4月)
平成4年	1992年	中学校建設促進委員会発足
平成5年	1993年	集会所が中央商事(株)から自治会に移管
平成6年	1994年	社会福祉法人愛光事業開始
平成7年	1995年	「自治会のしおり」作成配布 集会所に大型物置設置
平成9年	1997年	根郷中学校開校(4月) 山王郵便局開局(4月)
平成10年	1998年	物井駅橋上駅舎完成
平成12年	2000年	佐倉南図書館開館(2月)
平成13年	2001年	快速電車停車を求める運動実施
平成15年	2003年	山王地区路線バス開通
平成16年	2004年	物井駅快速電車停車 山防会 結成
平成23年	2011年	集会所建て替え計画検討
平成24年	2012年	街路灯LEDへの移行開始
平成30年	2018年	幹線道路防犯カメラの設置
平成31年	2019年	集会所建て替え実施

※山王自治会議事録より抜粋

山王地区は中央商事株式会社(現:株式会社 日立アーバンインベストメント)が、1985年(昭和60年)4月に大規模宅地分譲事業として総開発面積66万㎡、1300戸のビクタウン「さくら学園ニュータウン・山王」という名で分譲されました。



↑1984年頃さくら山王学園ニュータウンとして造成される。



当時の物井駅には下駄箱があり、住民は雨が降ると、長靴で駅まで行き、駅に置いた革靴に履き替えて通勤したそうです。当時快速電車は停まらず不便でした。山王住民の署名運動など長年の活動を経て、平成15年に快速電車が物井駅に停まるようになりました。また、同時に山王地区に路線バスも開通し、住民の生活は改善されました。

分譲が進むにつれて、人口増加が増加し、駅前の放置自転車が多く、問題になりました。駐輪所の料金改定等を経て、徐々に改善されました。



↑現在も続くさくら山王夏祭り。子ども神輿が練り歩きます。

平成年表	1989年 (平成元年)	1995年 (平成7年)	1995年 (平成7年)	1997年 (平成9年)	1998年 (平成10年)	2001年 (平成13年)	2011年 (平成23年)	2014年 (平成26年)
	消費税 3%開始	阪神淡路 大震災	オウム真理教 事件	消費税 5%開始	冬季長野五輪 開催	アメリカ 同時多発テロ	東日本 大震災	消費税 8%開始



現在の航空写真。たくさんの方が建ちましたね。



↑設立当初の山王小学校。木々が小さく、真新しい様子がわかります。



物井駅までの一本道。

秋には黄金色のお米が実ります。

春は桜が満開に咲く山王のホットスポット山王公園

【平成30年度山王自治会長 黒田幸夫氏】

私は、山王に来て30年程になります。

当時物井駅は土のホームで駅舎も古い木造作り、早朝サラリーマンに混じって、大きな荷物を担いで東京に野菜を売りに行く行商のおばさん達一行とよく一緒になったものです。当時の駅舎(改札)は、西側だけにあったため、東京方面に行くには一度階段と立教を渡って改札を通り、構内の階段と立橋を使って再び東側(ホーム)に降りるといった2度階段の上り降りが必要でした。

根郷中学校が建つ時には、将来施設は地元山王住民に還元しようとの考えから図書館、体育館、プール棟など、校舎とは独立して建てられた経緯があります。

これからも静かでやさしい住み慣れた町となるよう皆さんと力を合わせていきましょう。

※資料提供: 山王小学校PTA様 さくら山王自治会様 株式会社日立アーバンインベストメント様



平成から令和へ
 たくさん笑顔と共に
 ありがとう



知っていますか？福祉に関するシンボルマーク

ふくしの時間です
～街で見かける福祉に関わるシンボルマークをあなたは知っていますか～
今回は、点字ブロックを紹介します。

～ 点字ブロック ～
点字ブロックは目の不自由な人にとって、安全に街を歩くための道しるべです。点字ブロック上の駐車や駐輪は大変危険です。



警告ブロック(点状ブロック)
危険箇所や誘導対象施設等の位置を示すブロックです。階段前、横断歩道前、誘導ブロックが交差する分岐点、案内板、障害物の前、駅のホーム等に設置されています。



誘導ブロック(線状ブロック)
進行方向を示すブロック。視覚障害者がブロックの突起を足裏、あるいは白杖で確認しながら突起の方向にしたがって進むことができるように設置されています。



私たちが山王を守っている ～山防会編～



創 設は平成16年9月。
当時の山王は空き巣や車上荒らしなどの被害が2ケタを超えていた。
それじゃダメだ！山王は私たちが守る！
そんな思いから、有志が集まった人たちが、自治会の防犯パトロールとは別に活動をスタートした。

現 在は、週2回(木曜15時、土曜20時)2～3班に分かれて町内をパトロールする。拡声器で呼びかけ、拍子木で火災予防、トンクでごみを拾っていく。
小中学生への声掛けは、積極的に。下校時間に活動するのも見守りのため。あいさつ運動はコミュニケーションだと思っている。
この黄緑のジャンパーは、確実に地域に浸透し、子どもたちの安心と安全を守っていた。

今 後の課題は、人を増やしたいのに人が集まらないということ。
メンバーの多くが高齢者。頼もしい先輩たちと一緒に、わが町を守りゆく仲間が一人でも多く集まることを望んでいる。犯罪が少ない安全な町を願って。

さくら山王防犯パトロール隊
【山防会】
代表：中務 清孝(会長)
TEL:090-5823-0560
集合場所：山王自治会 集会所(活動日)
木曜：15時～/土曜：20時



佐倉市立南部児童センターは、乳幼児親子から18歳までの子どもたちが利用できる施設で、主に、子どもに健全なあそびを提供して、心身の健康を増進し情操を豊かにすることを目的に運営しています。そして、子育て中のママや、子どもたちの居場所づくりにも努めています。

児童センターでは幼児を対象として、家庭ではできないあそびを中心に「あそびの教室」を毎日開催しています。あそびを通して、ママ同士の会話が自然と生まれます。輪の中に入って、いっしょに話を聞きながら、少しずつ横のつながりができるようにお手伝いするのが、インストラクターの役目です。

ある日の児童センターのようす

緊張気味の新米ママに「お子さんのお名前は？」と、インストラクターが話しかけると、近くにいた先輩ママが「かわいいお名前ね！何か月ですか？」と、後を追うように話しかけてくれます。おもちゃを独占したくてけんかをしてしまう子には、「大丈夫よ。うちの子もそうでしたから！」などと、笑顔で見守ります。

たくさんあそんだ後は、ロビーでのランチタイム。「新米ママ」たちも、やがて顔見知りになり「子育て談義」に花を咲かせます。おうちに帰る親子には「バイバ～い！」のあいさつ。

あたたかい雰囲気づくりを支えてくださっているのは、来館者の方たちなのかもしれませんね。



「一人じゃないんだ。がんばらなくていいんだ。」

肩ひじをはずすに肩の力を抜いて、いつでもママがホツとできる、そんな南部児童センターでありたいと思います。



佐倉市南部児童センター
〒285-0806
佐倉市大篠塚 1587
(南部福祉センター内)
TEL043-483-2800

愛光公式 Twitter



2019.1.7～
スタート
しています

法人のイベントやリクルート情報、各施設で行われた行事の様子、また職員の研修についてなどなど

さまざまなことをツイートしていきます！

ぜひフォロー、リツイート、いいね♡をお願いします！

お問い合わせ：法人総務部

福祉の名語録

『人間として、人間らしく生きる』

長い間、私は「福祉とは何か、何をすることか」と考えてきました。福祉を学び始めたのがちょうど50年前です。この連載も、これまでそんな問いを自分に投げかけてきた思案の中で、あれこれ思いつくままに書いてきました。私の仕事の終わりも見えてきましたので、ひとまずこの連載を終えようと思います。

古今東西の先人の遺した一言を「座右の銘」として大切にすることは、仕事にとどまらず、生きていくうえで心の支えになります。本を読んだりお話を聴いたりする中で、「これだ」と感じる言葉に出会うと、まるで宝物を掘り当てたような気になります。

そこで、福祉の実践や研究に一身を捧げてこられた諸先輩の言葉の中で、「福祉の名語録」最終回にふさわしい一句を選びました。

ところで、福祉の対象が「人」とであるということに異論はないと思います。ではその「人」に対して、われわれが介護や介助、支援や援助、相談といった形ではたらきかける行為の根本にあるのは何でしょうか？

その問いに対する答えが見出しの一句です。

「自分は『いらぬ人』ではないと感じること(存在有意感)は、『社会福祉哲学』における人間肯定・人間尊重の出発点である」(秋山智久)

つまり「人間として、人間らしく生きる」ことは、この世に生を享(う)けた人すべての持つねがいです。その上で、自己決定と自己実現、社会連帯と地域共生などの理念が尊重され、それを実現していくのが福祉実践の中身となる、ということではないでしょうか。

(法澤奉典)

感謝のコーナー (2018.11～2019.2)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申し上げます。勝手ながら敬称を省略させていただきます。(順不同)

【個人】河路 尚美、海老沢 礼子、矢野 光子、金澤 利一、佐奈田 雄一、石田 久男、佐藤 綾香

【団体】市川地区第一社会福祉協議会、カラオケ発表会(教養教室)、ルミエール家族会、リホープ家族会、愛の灯台基金

日誌抄録

(2018.11～2019.2)

ル：ルミエール
根：根郷通所センター
よ：よもぎの園
包：南部地域包括支援センター
山：山王の家

め：めいわ
は：はちす苑
か：ワークショップかぶらぎ
児：児童センター・学童
後：後援会「愛の灯台基金」

リ：リホープ
ア：アシスト
ジ：ジョーの家
地：南部地域福祉センター

- 11月
- 2日 平成31年度採用試験④
 - 4日 根郷福祉祭(地)
 - 5日 寿司パーティ(は)
 - 6日 物井駅前花壇植替え(め)
 - 7日 職員バレーボール県大会参加(め)
 - 11日 あいがも米作り収穫祭参加(め)
 - 11日 草笛クラブコンサート(リ)
 - 13日 リスクマネジャー養成講座
 - 14日 千葉県指導監査(ル・め・リ・ア)
 - 14日 山王小6年生職場体験(は)
 - 16日 千葉県指導監査(ジ・山)
 - 18日 四街道ガス灯ロードレース参加(リ)
 - 24日 理事会
 - 26日 平成31年度採用試験⑤
 - 26日 中堅職員リフレッシュ研修
 - 28日 地域食堂「ともいき」プレオープン

- 12月
- 1日 宮前ローズタウン祭参加(よ・め)
 - 2日 ニューリバーロードレース参加(め・リ)
 - 2日 評議員会
 - 10日 リスクマネジャー養成講座
 - 13日 ハワイアンフラコンサート(児)
 - 14日 平成31年度採用内定者見学会・懇談会
 - 15日 後援会バリアフリー上映会
 - 16日 認知症サポーター養成講座(児)
 - 17日 山王学童との交流会(リ)
 - 18日 介護マイスター研修
- 1月
- 7日 公式twitter開設/法人新年会
 - 9日 ターミナルケア研修
 - 15日 佐倉市施設協議会(市長との懇談会)
 - 15日 根郷地区小学生書き初め展(後)
 - 16日 平成31年度採用試験⑥
 - 22日 成人を祝う会(根)
 - 24日 介護マイスター研修
 - 26日 理事会
- 2月
- 2日 Aikohフォーラム「消費者被害/成年後見制度」
 - 6日 山王小学校福祉学習(リ)
 - 15日 労務管理研修
 - 19日 権利擁護・成年後見制度研修
 - 24日 小学生バス遠足(児)

<編集後記>

“愛光”と“山王”が紡いだ30年、「平成」という時代の中で、振り返ると様々な出来事があったことに、感慨深い思いを抱きながら今号の編集を行いました。そして、新元号「令和」と共に、気持ちも新たに皆様へより良い広報誌をお送りしてまいります(椎名)

【編集委員】

林拓也(総務部)/角田給友(ルミエール)/斎藤美佳(めいわ)/佐藤友里恵(リホープ)
竹崎未紗(はちす苑)/川上昇平(南部包括)/椎名豊(ワークショップかぶらぎ)
イラスト：平野美幸(根郷学童)

2019年(平成31年)4月20日発行

社会福祉法人 愛光

発行人 法澤 奉典

編集人 広報委員会

〒285-0807千葉県佐倉市山王 2-37-9

TEL.043-484-6391

FAX.043-484-6396

E-MAIL mail@rc-aikoh.or.jp

U R L http://www.rc-aikoh.or.jp

印刷：ワークショップかぶらぎ